



「欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド（欧州通貨コース／円コース／豪ドルコース）」

分配金のお知らせ

平素より「欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド（欧州通貨コース／円コース／豪ドルコース）」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

2019年10月15日の決算において、欧州ハイ・イールド債市場や為替の動向、基準価額水準および基準価額に対する分配金額などを総合的に勘案し、「豪ドルコース」の分配金を30円から20円に引き下げることをいたしました。それ以外のコースにつきましては、前回決算の分配金から変更ありません。

■ 分配金（1万口当たり、課税前）

ファンド	分配金額		基準価額 (決算日)	基準価額 (分配金再投資)	
	(前回決算)	分配金額 設定来累計		(決算日)	(前回決算)
欧州通貨コース	20円	6,550円	5,108円	14,791円	(14,826円)
円コース	40円	8,525円	8,595円	20,438円	(20,614円)
豪ドルコース	20円	11,090円	3,950円	21,869円	(22,271円)

前回決算：2019年9月13日

設定日：2008年8月11日

基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

・分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

分配金は、投資信託説明書（交付目論見書）記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

「豪ドルコース」の分配金引き下げの背景

2019年10月15日現在、「豪ドルコース」の基準価額は3,950円、基準価額（分配金再投資）は21,869円となりました。

基準価額（分配金再投資）は、2018年1月23日に設定来最高値を記録しましたが、その後下落に転じました。欧州ハイ・イールド債は上昇したものの、円高豪ドル安が進行したこと（3ページご参照）等が要因です。基準価額（分配金再投資）の2018年1月23日から2019年10月15日現在までの騰落率は-11.0%となりました。

なお、基準価額は、2019年10月15日現在、3,000円台後半の水準にあります。基準価額の同期間の騰落率は-24.1%となりました。

欧州ハイ・イールド債市場や為替の動向、基準価額水準および基準価額に対する分配金額などを総合的に勘案し、また、信託財産の着実な成長を目指すべく、今回の決算において分配金を30円から20円に引き下げることといたしました。

基準価額の推移

「豪ドルコース」

2019年10月15日現在

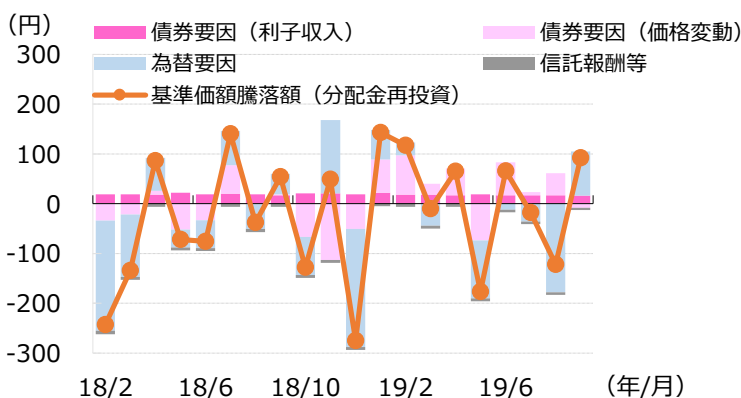
基準価額	3,950円
基準価額（分配金再投資）	21,869円



期間：2008年8月11日（設定日）～2019年10月15日、日次

基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額（分配金再投資）変動の要因分解（概算）



期間：2018年2月～2019年9月、月次

上記の要因分解は、一定の仮定のもとに委託会社が試算したものであり、各月の基準価額（分配金再投資）騰落額の要因を円貨にて表示しております。為替要因には、為替取引によるプレミアム/コストが含まれます。信託報酬等には、為替要因、債券要因（利子収入）、債券要因（価格変動）に含まれない全ての要因が含まれます。

左記期間の累計（概算）

為替要因	-690円
債券要因（利子収入）	375円
債券要因（価格変動）	-50円
信託報酬等	-116円

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

投資環境：豪ドル市場と欧州ハイ・イールド債市場

豪ドル（対円レート）市場

豪ドル市場は2017年半ば以降、円高豪ドル安が進行しました。この背景としては、豪州と経済的繋がりが強い中国経済が米中貿易摩擦の激化などに伴い減速基調にあることや、内需の刺激を目的として豪州準備銀行（中央銀行）が連続的に利下げを実施したことが挙げられます。

今後の豪ドルの見通しを考えるうえで重要な要素である中国は、インフラ投資拡大などの財政支援策や預金準備率の引き下げなどの金融緩和策により、国内経済の挺入れに取り組んでいます。このような中国経済の安定化は豪ドル相場にとってもプラスに働くと考えられます。

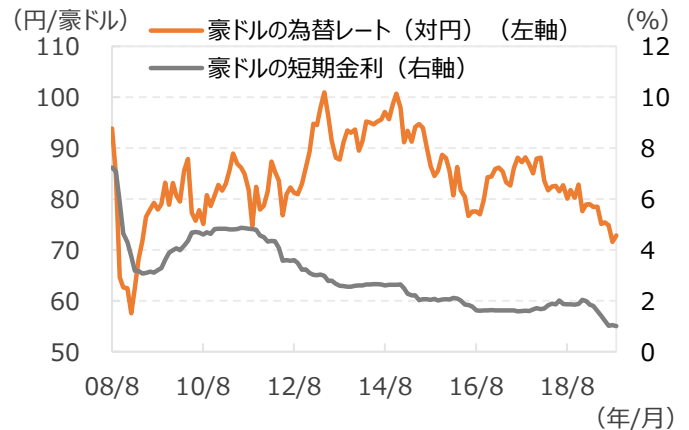
加えて、現在の市況は豪州準備銀行の将来的な利下げを既に一定程度織り込んでいることもプラス材料と言えるでしょう。

欧州ハイ・イールド債市場

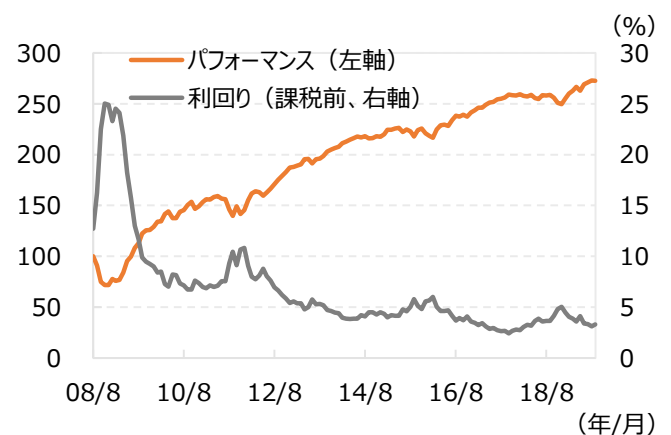
欧州ハイ・イールド債のパフォーマンスは、ECBによる継続的な金融緩和策により、2016年、2017年は堅調に推移しました。しかし、2018年に入ると、世界的な景気後退懸念の拡大を背景に、ドイツ国債とのスプレッドが拡大したことにより、軟調な動きとなりました。

2019年に入ってから、FRB（米連邦準備制度理事会）がハト派に転じたことで、欧州を含め、世界的に金融緩和傾向となったことに加え、英国のEU離脱問題やイタリア財政問題等を背景に、ドイツ国債の金利は低下しました。また、ECBの金融緩和策への方向転換が好感されたことから、スプレッドは縮小しており、欧州ハイ・イールド債市場は上昇基調で推移しました。

豪ドル（対円レート）と短期金利の推移



欧州ハイ・イールド債のパフォーマンスと利回りの推移

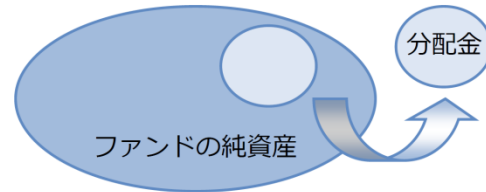


使用インデックスについて 「ICE BofAML European Currency High Yield Constrained Index SM/®」は、ICE Data Indices, LLCまたはその関連会社（「ICEデータ」）の登録商標です。当ファンドは、ICEデータによって支持・推奨・販売・販売促進されるものではなく、また、ICEデータは当ファンドに関して一切の責任を負いません。

上記は過去のデータであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

分配金に関する留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



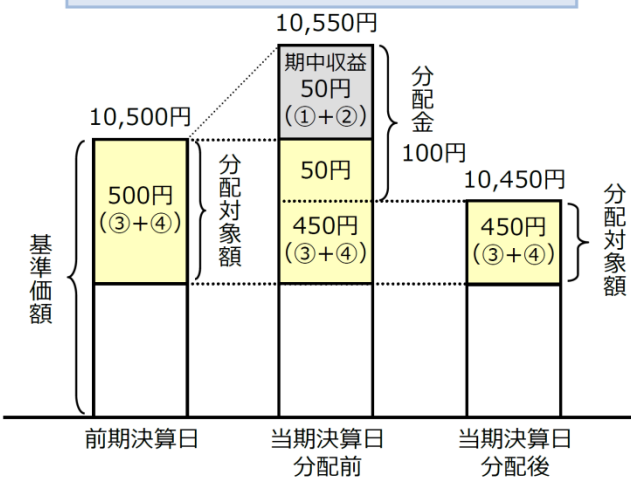
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

- ・ 計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

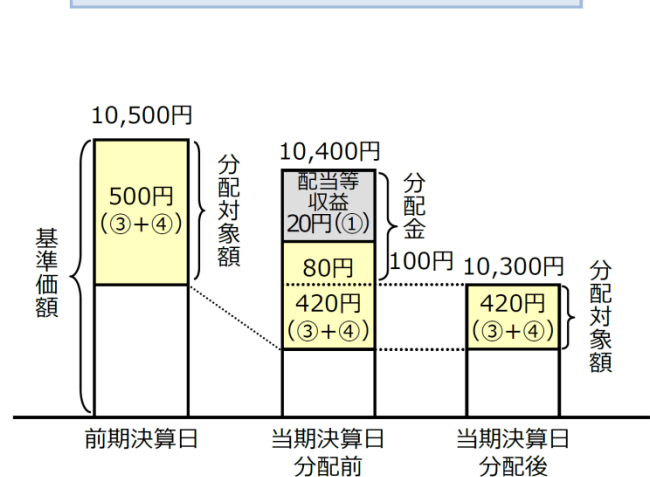
※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

前期決算から基準価額が上昇した場合

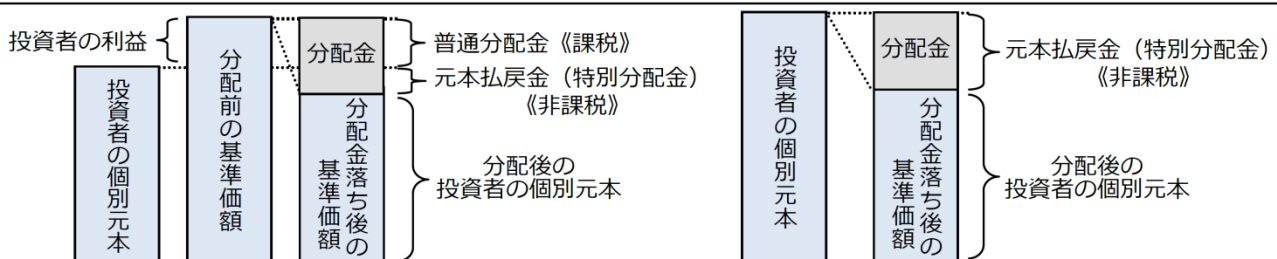


前期決算から基準価額が下落した場合



- 投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

- ◇ 普通分配金 … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。
- ◇ 元本払戻金（特別分配金） … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。



※ 投資者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。

（注）普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド（欧州通貨コース／円コース／豪ドルコース）

【ファンドの特色】

- 高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。
- 欧州通貨建ての高利回り事業債（ハイ・イールド・ボンド）を実質的な主要投資対象^{*}とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 「欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド」は、投資する外国投資信託において為替取引手法の異なる3本のファンド（欧州通貨コース、円コース、豪ドルコース）から構成されています。
- 円建ての外国投資信託「PIMCOケイマン・ヨーロッパ・ハイ・イールド・ファンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。
◆「PIMCOケイマン・ヨーロッパ・ハイ・イールド・ファンド」には、為替取引手法の異なる3つのクラスがあります。

ファンド名	ファンドが投資対象とする外国投資信託の為替取引手法
欧州通貨コース	欧州通貨建て以外の資産に投資を行なった場合、原則として当該通貨を売り、ユーロを買う為替取引を行いません。
円コース	組入資産を、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
豪ドルコース	組入資産について、原則として、実質的に当該組入資産にかかる通貨を売り、豪ドルを買う為替取引を行いません。

- 通常の場合においては、「PIMCOケイマン・ヨーロッパ・ハイ・イールド・ファンド」への投資を中心とします^{*}が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。
※通常の場合においては、「PIMCOケイマン・ヨーロッパ・ハイ・イールド・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。
- ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- 「欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド」を構成するファンド間でスイッチングができます。
- 運用にあたっては、ピムコジャパンリミテッドに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
- 「野村マネー マザーファンド」は、残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図ります。
- 原則、毎月13日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行いません。
 分配金額は、分配対象額の範囲で委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行いません。
 ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。

※「原則として利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意下さい。

* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

※資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド（欧州通貨コース／円コース／豪ドルコース）

【投資リスク】

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主に外貨建債券を実質的な投資対象としますので、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2023年10月13日まで（2008年8月11日設定）
- 決算日および収益分配 年12回の決算時（原則、毎月13日。休業日の場合は翌営業日）に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1万口単位（当初元本1口＝1円）
または1万円以上1円単位
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- スイッチング 「欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド」を構成するファンド間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込ができません。
・ニューヨーク証券取引所・フランクフルト証券取引所
・ニューヨークの銀行・フランクフルトの銀行
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時（スイッチングを含む）および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2019年10月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.85%（税抜3.5%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 * 詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.76%（税抜年1.60%）の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額（ご換金時、スイッチングを含む）	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会／
一般社団法人日本投資顧問業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>



【当資料について】

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

【お申込みに際してのご留意事項】

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

欧州ハイ・イールド・ボンド・ファンド (欧州通貨コース)／(円コース)／(豪ドルコース)

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○		○	○
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。